

会報



第190号

発行者
社会福祉法人
長野市身体障害者福祉協会
理事長 小林和夫
〒380-0904
長野市大字鶴賀276-10
(長野市障害者福祉センター内)
電話 228-3014
ファクス 226-6263

新春あいさつ

長野市長 加藤 久雄



新年あけましておめでとうございます。日ごろは市政に対し、ご理解

とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本市は、将来世代へ負担を先送りしないことを念頭に置き、「Y O B O U (予防、呼ぼう)」をテーマに、防災・減災をはじめ、健康や子育て、産業や観光などの施策に取り組んでまいります。これからの時代は、年齢や性別に関係なく、誰もが活躍できる社会の実現が必要であり、昨年9月に「人生100年時代を見据えた新しい高齢者の定義」について松本市長とともに共同提言しました。内容は「75歳以上を高齢者と呼びましょう」というものです。私が先頭に立ち、女

性・高齢者活躍社会の実現に向け、手本を示してまいります。

市民の健康は本市の財産であり、健康寿命の延伸に向け、ながのページライフ宣言「ハッピーカミング1・2・30」を合言葉に、市民に健康的な生活習慣を浸透させるとともに、受動喫煙対策も進めてまいります。

本市は、障害のある皆様の自立及び社会参加の促進に向けて策定した「長野市障害者基本計画」や、障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業の提供体制やサービスの量の目標値を設定した「障害福祉計画・障害児福祉計画」に基づき様々な事業に取り組んでおります。今後も障害について理解を深め、人格と個性を尊重し、共に支え合い、共に生きる社会の充実に努めるとともに、「幸せ実感都市ながの」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。結びに、今年一年の皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のあいさつ

理事長 小林 和夫



新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎え

えの事とお慶び申し上げます。昨年は、異常気象に伴う猛暑と度重なる台風による被害など大変な年でした。被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。さて、昨年は国の多くの各省市と長野県を含む地方自治体で、障害者の雇用率を増進するという事実が発覚しました。更に、旧優生保護法による障害者等に対する強制避妊手術の問題も明らかになりました。いずれも障害者の人権が大きく軽んじられた事例で、誠に遺憾なことです。国連の障害者権利条約を批准するに当たって、各種国内法の整備が行

われ、障害者雇用促進法の改正や障害者差別解消法の新たな制定など、一連の大幅な法の変革の動きの最中に明らかになった事例だけに、大きな汚点が記されたことになり、誠に残念至極なことです。

この事は法の理念を形骸化して、それが単に建前に過ぎなかったことの現れです。法を執行するにあたっては、法の理念を形骸化させることなく、常に真摯な法との取組みを期待するところです。関心を持って注視しましょう。

それから、障害者差別解消法における、障害者の合理的配慮の意思表示に対する民間事業所の対応の在り方について、その義務化の推進がそろそろ必要ではないでしょうか。法の見直しを注視し、必要な発言をしましょう。結びに、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

市長・議長要望の報告

12月25日長野市役所において、加藤久雄市長及び小林治晴市議会議長に、昨年の市身体障害者福祉大会において決定された「大会決議」の内容について要望しました。市長からの回答（抜粋）は、次のとおりです。

1 各種障害者施策、とりわけ、「社会モデル」であるノーマライゼーションについて、共生社会実現を目的とする施策制定の趣旨に沿った啓発と推進を強く要望します。

・「障害者基本計画」などを策定し、様々な施策を推進している。

・11月には、障害者団体も参加し立ち歩き点検を実施したので、これを参考として環境を整備していく。

・共生社会実現にむけ市民一人ひとりの理解を得るため、研修やイベントなどにより理解の促進に努めている。

・10月には、市と「障害ふくしネット」の主催で「ふくしネットフェスタ」を開催し、多くの市民に理解と関心を深めてもらうことができた。

・今後も、基本理念に沿った施策の総合的な推進をしていくので、協力願いたい。

2 災害時において、避難弱者となる障害者への支援体制の充実を強く要望します。なお、現在、長野市が進めている防災行政無線デジタル化整備においても、障害者視点に立った支援機能を、実際の使用者の意見を反映する中で、積極的に取り入れるよう要望します。

・災害発生直後には、地域による互助・共助が支援の主体となる。

・要支援者が避難所等あるいは避難せず自宅で避難生活する上で、必要不可欠な支援等を確認し、支援する。

・避難所等を開設する際に、

障害者が生活する上で必要とする機能等、関係者の意見を聴き整備していく。

・防災行政無線デジタル化



整備事業は、複数の事業者からの企画提案の中から優れたものを選定する方式で設計・施工業者を選定する

が、市から提示する仕様に要支援者等への配慮を盛り込む。

3 福祉医療給付金について、加齢

や障害認定の変更に伴う適用制度の切替等において、制度間に隙間が生じ利用者に不利益が及ぶことのない仕組みの構築を要望します。

・本市は、県補助基準や他の中核市と比べ、独自で福祉医療の対象範囲を大幅に拡充しており、財政面から、現状でご理解をお願いしたい。

4 長野市障害福祉センターについて、計画的改修を要望します。

・大規模改修が必要な時期がきている障害者施設が他にも複数あり、緊急性や安全確保、利便性の改修は優先して実施していく。事前に協議し、施設管理者と連絡を密にして進めていきたいので協力をお願いしたい。

第2回健康教室

11月8日、28名の会員の参加をいただき、(福)博悠会「フランセーズ悠」の坂井真由美先生を講師にお招きして、健康について講話を受講したあと、「ノルディック・ダンス」を体験しました。

「ノルディック・ダンス」では、先生の元気な掛け声と音楽に合わせて、張り切ってステップを踏み、体はポカポカと……。

参加者の皆さんは充実した時間を過ごされたようで、帰りの足取りは、心持ち軽やかに感じられました。



第2回理事会の報告

11月15日、相談役にも出席をいただき、理事6名(1名欠席)及び監事2名が出席し、「平成30年度前期の事業執行状況」について、理事長及び事務局から報告を行いました。会議では、青年部・女性部の活動状況について質問がありました。

また、県身体障害者福祉協会との連携・情報提供の強化などについて意見・要望がありました。

次回3月開催の理事会では、「平成31年度事業計画・予算」等について、決定をいただく予定です。

秋の北陸・富山満喫の旅

朝陽支部 小島 幸雄

旅程への期待とベテランガイドさんの話術に引かれた総勢36名は、もうすっかり旅人気取りに様変わり。

バスは富山平野に入り、広い田園が続く中に点在する屋敷森と家屋の風景に魅せられつつ「チューリップ四季彩館」到着。壮大なガラス張り館は花又花と夢の世界、季節を忘れてしまった。「いなみ木彫りの里」入口に並ぶ大型一本彫りの七福神、あたかも客を迎える感。ここで昼食。そして本日のメイン「高岡御車山会館」到着、巨大な建物の中の山車について館長が説明される。太閤秀吉が後陽成天皇の行幸を仰ぐために作った御所車との由、友の前田家が拝領、この山車を使った高岡御車山祭は、ユネスコ無形文化遺産に登録、豪華絢爛そのもの。4時頃に水見温泉旅館に到着、豪華な料理にご満悦。

2日目「海王丸パーク」船内は意外に狭く、航海訓練生の頑張った姿が脳裏を過ぎる。「蟹のセリ市」「源ますのすし作り」興味深く拝見。事務局、旅行会社のご配意に感謝感激。



旧優生保護法に関する長野県の支援体制について、その内容(抜粋)をお知らせします。

県では、障がい関係団体などと連携するほか、専用相談電話を設置して、当事者の方などから思いや悩みをお聞きします。また、必要な生活上の支援を行っております。

旧優生保護法に関する長野県の支援体制

1 当事者の方などの思いや悩みをお聞きします

- (1) 障がい関係団体と連携した聞き取りを行います。
- (2) 専用相談電話の設置による聞き取りを行います。
※当事者の方の思いについては、プライバシーに配慮しながら国につなぎ、実態を踏まえた救済の仕組みの検討を行うよう要請する予定です。

2 生活上の支援

- (1) 担当する職員が生活上の相談について支援します。
- (2) 福祉サービスの利用、施設への入所の調整等を行います。

相談・お問い合わせ先

【専用相談電話】

- 電話番号：026-235-7143 (直通)
※電子メール (boshi-shika@pref.nagano.lg.jp) や FAX(026-235-7170)でも相談を受け付けています。
- 受付時間：月曜日から金曜日 8時30分から 17時15分まで (祝祭日・年末年始を除く)
- 受付内容
 - ・当事者やご家族等からの思いや悩みの聞き取り (プライバシーに配慮いたします)
 - ・生活上の相談
 - ・旧優生保護法に関する各種相談
- 設置場所：健康福祉部 保健・疾病対策課
母子・歯科保健係

お問い合わせ

健康福祉部 保健・疾病対策課
電話番号：026-235-7141
ファックス：026-235-7170

(注) 長野県ホームページ (更新日：2018年10月31日) から、抜粋しました。

障害者に対する航空旅客運賃 (国内線全区間) の割引の適用が拡大されました。

(平成30年10月4日から適用)

【従前】

身体障害者手帳の交付を受けている満12歳以上の身体障害者で、身体障害者手帳に、第一種と記入されている場合は本人及び介護者1名割引、第二種と記載されている場合は本人のみ割引

【適用後】

一部の航空運送会社において、身体障害者手帳の交付を受けている満12歳以上の身体障害者で、身体障害者手帳に第一種と記入されている場合に加え、第二種と記載されている場合でも、本人及び介護者1名割引

【割引対象】

- 第一種：本人及び介護者1名
- 第二種：本人 (一部の航空運送会社は、介護者1名も割引。)

【対象航空運送会社】

日本航空(株)、日本トランスオーシャン航空(株)、日本エアコミューター(株)、全日本空輸(株)、スカイマーク(株)、(株)フジドリームエアラインズ ほか

(注) 詳細は、各航空運送会社にお問い合わせください。

支部だより

大岡支部長 山崎 義輝

我が会も、終戦後に各市町村に組織された傷痍軍人会を基盤として発足したと聞いています。障害を持った人達が、心の寄り合いと傷を癒す場を求めて集まったことと思います。

当時の会員は120名くらいで、慰安旅行や日帰り慰安会など種々の行事を計画していました。会員相互の心の支えになったと思われま

す。会も、長野市との合併を契機に会員の減少が続き、私が入会した平成10年からは急に減少しました。また、高齢のため交通手段がなく外出が億劫になって、支部事業を計画しても出席者がほとんどなく行事が出来ず、また若年層の加入もなく、将来が危ぶまれる現状です。役員が知恵を絞っても妙案がなく、「今後の支部存続をどうしたら!」と、頭の痛い問題です。

障害者が何ら不安なく生活を送ることが出来る地域社会の実現を目指して、頑張らなければと思います。



縁側から語りつく

「縁が和リレー」

本部会員として

本部 久保田 篤

私が中条村身体障害者福祉協会に入会したのは、長野市との合併前です。支部総会の時に、「長野市との合併に関わらず、10年後には支部長を引き受けてほしい。」と要請があり、10年経過と同時に支部長を引き受けました。

長野市身体障害者福祉協会中条支部の発足時には、三役(このときは、支部長ではありませんでした。)の一人として調印式に立ち会いました。

当初、支部会員は大勢いましたが、会員の減少と高齢化に伴い運営が難しくなり、発足から6年で支部は解散になってしまいました。

支部会員から本部会員、青年部への加入と同時に、すぐに役員を引き受ける事になりました。支部会員の時とは違った形でいろいろな人達と出会う事ができ、「本部会員になってよかったかな!」と思っております。事務局、他地区支部会員の皆さんとのつながりを大切に活動したいと思いますので、これからもよろしくお願いたします。

芹田地区周辺の「猫面瓦」散歩16

〜三輪の巻2〜

芹田支部 相原 文哉

旧北国街道の相ノ木通りを東へと進み、長野女子短期大学通学路となる丁字路のすぐ手前に古い二階建切妻造りの民家がある(三輪9丁目6)。土蔵造り風で道路側(東面は小道、北面は街道に面する)の二階部分は小さな窓。一階はかつて商家だったのか開口部が大きい。その北面の一階屋根は瓦葺の庇状となり、横に出た東棟先に「猫面瓦」がちよこんと乗っている(図参照)。アゴなしの猫面である。表面には瑞雲が陰刻されており、雲は右から左へと動いている。左の先頭部は時計回り状の渦巻きとなり、どことなくゆつたりとしている。右の尾となる部分はややスピード感があり、細い後尾を上げて確かに動いている。何とも優雅な意匠で素晴らしい。



行事予定

- ◆ニュースポーツ競技会と歌声広場
 - 期日・場所：2/17(日)、障害者福祉センター
 - 申込み：2/7(木)までに支部長へ(本部会員は事務局へ)
 - ニュースポーツ体験：午前10時～12時
 - 講師 障害者スポーツ協会指導員
 - 歌声広場：午後1時～3時
 - 講師 浅川英士子先生
- ◆会員・家族合同慰安会
 - 期日：2/28(木)～3/1(金)
 - 場所：戸倉上山田温泉「ホテル圓山荘」
 - 会費：8,000円
 - 申込み：2/7(木)までに支部長へ(本部会員は事務局へ)
 - ※ 集合場所・時間等は、後日お知らせします。

編集後記

今年は何号が変わる年であり、また、参議院選及び統一地方選挙の年でもあります。4月の県議選、7月の参議院選、9月の長野市議選と続きます。

私たちの生活は政治により決められています。選挙は私たちの意見を反映させる一番大切な機会です。年々投票率が下がっています。投票には必ず行きましょう。

編集委員 中村 邦雄